

こずもず



平成30年6月19日
上田市立城下小学校

人を笑顔にする算数 思いやり算

6月の校長講話より

心に残っているテレビCMがあります。

「+」「-」「×」「÷」

「+」は、助け合う。
「-」は、引き受ける。
「×」は、声をかける。
そして
「÷」は、分け合う。

それは、人を笑顔にする算数、思いやり算
ほら、やさしいでしょ。



というテレビCMでした。「人を笑顔にする算数」という言葉と「ほら、やさしいでしょ」が私はとても気に入りました。

困っている友達がいたら「助け合い」
自分の事でなくても、笑顔で「引き受け」
よく「声をかけ合い」
喜びも悲しみも「分け合う」

実は、皆さんの身近にも、長い間、「人を笑顔にする算数、思いやり算」を実行している人がいます。

城下保育園の前の交差点で、毎朝、みんなに声をかけて下さっている「佐藤和子さん」です。佐藤さんは、

10年以上、城下保育園の前の交差点に立ち続け、皆さんに声をかけ続けて下さいました。しかし、お体の具合が悪くなって、去年の12月から病院に入院していました。でも、ずっと皆さんのことが気になっていて、今年5月15日から、また、あの交差点に立ち始めました。全校の皆さんには、去年12月、佐藤さんの具合が悪くなった時に、「佐藤さんへのメッセージ」を書いてもらいました。

そのメッセージを読んで、佐藤さんは、私にお手紙を下さいました。そこには「どんなに生きるエネルギーをもらっているかわかりません」「私の何よりの元気パワーです」「涙が出るくらいうれしかったです」「何回も読ませてもらったけれど、私にとって宝物です」「入院・手術・リハビリの辛さも吹き飛びました」「今後も、体力・気力が続く限り、一日一生の思いで曇りのない笑顔で子どもに接していきたいと思えます」と書いてありました。

佐藤さんが、皆さんに「人を笑顔にする算数・思いやり算」をして下さっているように、皆さんのメッセージや、朝、あの交差点での「おはようございます」「もう大丈夫なの」「毎朝、ありがとうございます」「無理しないで下さい」の声が、佐藤さんを笑顔にしています。

学校の中でも、地域の皆さんにも、「人を笑顔にする算数 思いやり算」を実行して、皆さんの心が温まり、笑顔あふれる城下小学校にしていきましょう。



運動会・環境整備作業

春のPTA作業（5月26日）では、2、4、6年生の保護者のみなさんに、草刈り・泥上げ・畑起こし等の外回りから暖房器具・扇風機・トイレ清掃等の校舎内まで、たくさんの整備作業をしていただきました。進んでどんどん作業をしてくださったので、ふだん手の行き届かないところですが、あっという間にきれいになりました。



春のPTA作業

また、運動会では大玉送りで盛り上げていただくだけでなく、後片付けでも大活躍をしていただきました。とても暑い日で、子ども達も最後の力をふりしぼっての作業だったので、とても助かりました。



運動会

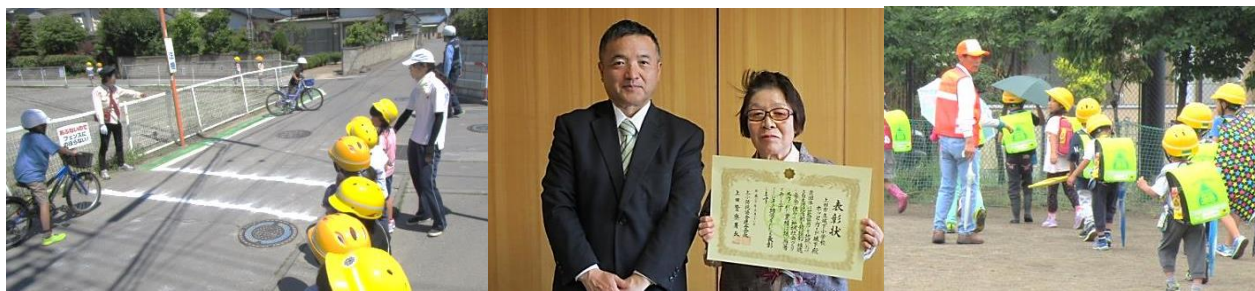
あらためて城下小学校の保護者のみなさんのパワーを感じました。ありがとうございました。

「止まる」を習慣に

自分の大切な命を守る学習をしました。交通安全教室では、警察の方から「安全確認をしっかり行うこと」と注意をいただきました。特に、信号や交差点では必ず一度止まって左右や後方の確認を習慣づけるようにという話がありました。歩行も自転車も常に「安全確認」を怠らないようにしましょう。

子ども達の安全については、安全協会の皆さん、少年補導員の皆さん、「ホッと・ガード城下」の皆さんにお世話になっています。過日「ホッと・ガード城下」の活動に対して、地域安全活動を積極的に推進している自主防犯功労団体ということで、上小防犯協会連合会より表彰されました。「城下の子ども達を、自分たちで守ろう」という気持ちで長い間支えられている活動が認められて、嬉しい表彰でした。

今後とも保護者・地域の皆様の見守りをよろしくお願いいたします。



他にも、学習や学校生活の充実をめざして、今年度も様々な支援をいただきます。



左から「書道講習会」「田植え」「読み聞かせ」の様子

（文責 鹿取ちか）